



バグダッドLO日々業務報告(6月14日1830)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーフに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全境に係る脅威レベル サマーフ及びバスラは[REDACTED]、バグダッド及びモスルは[REDACTED]、ラマディは[REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) SNR報告及びCOA報告 (3) 大使館員送迎に伴う無線傍受支援
5 その他(備考)	

バグダッド日誌(6月14日)

○ ナンバーワン ホスピタリティ([REDACTED] サマーフ・スミティ訪問同行雑感)

先ず初めに、昨日サマーフからの帰隊時、 [REDACTED] 及び副官 [REDACTED] (伊)から「大変良かった。日本の接遇は1番だ!」との言葉を頂いたこと、更に本朝1番で「傑出して素晴らしい心地よい招待に大変感謝を受けた(outstanding excellent and warm hospitality)」とのメールを頂いたことを、この場を借りて紹介させていただきます。

バグダッド連絡幹部2名は、同行という名目でサマーフ及びスミティの訪問をさせていただきましたが、群長、隊長から「数少ないサマーフ訪問機会を有意義に過ごして欲しい。副司令の接遇はサマーフ担当者に任せて貰ってかまわない。」との特別な計らいをしていただき、入浴及び食事という特別コースを設定して頂きました。まさにイタリア料理と同感で、傑出して素晴らしい招待に大変感謝を受け、サマーフの方々の心遣いに恐縮至極でした。

初のサマーフ訪問と言うこともあり、期待に胸を躍らせての訪問でした。サマーフへ行く途中で燃料給油のため立ち寄ったMND(CS)司令部(ポーランド)のあるディワーニヤと雰囲気は完全に異なり、サマーフ宿営地は整然と区画整理された建造物、鮮やかな日の丸標記が特設に整列した駐車車両、吹き流しとキビキビと動く誘導隊員、出迎えや儀仗のために整列する自衛隊員には一種の爽快感と安堵感を感じました。

御配慮により使わせて頂いた露天風呂の心地よさに時が経つのを忘れて、残余時間は約1時間弱となってしまう、駆け足での関係部署回りとなりました。何処の部署も忙しそうに勤務されており声を掛けるのも躊躇しましたが、皆さん邪魔者扱いするどころか、大歓迎で迎えてくれました。労いの言葉と日本食等の差し入れ、群の記念品等を持ちきれないほど頂き、サマーフの皆さんがバグダッドのことを気に掛けて下っていることを身染みて感じました。スミティにおいても連絡幹部が業務多忙の中、私どもにつき合ってください施設等案内していただきました。各部署担当者との会話から察するに、これほどの人間関係を構築するのには、同じ目標に向かい大変な努力をしているからこそ、信頼関係ができていのだらうと感じました。

サマーフ・スミティの方々の仕事ぶり、多忙な中での皆様の一所懸命さと前向きさを直に拝見させていただき、バグダッドにおける勤務意欲の更なる向上につながりました。群長、隊長を初めとする関係者各位の御心遣いに対しこの場を借りて深く感謝申し上げます。 [REDACTED]